

連携・接続の4ステップ

年度末

ステップ④ 【カリキュラム改善】 合同会議：振り返り・計画

- 年間の振り返りを行う。
- 交流活動の継続的な実施に向けて改善を図り、次年度の計画を立てる。

計画に
応じて

ステップ③ 【交流】 双方に学びのある交流

- 事前の打ち合わせを行う。
- 交流活動を実施する。
- 事後の振り返りを行う。

参考
資料4 保幼小交流指導案・活動記録(例)

4
~
6
月

ステップ② 【カリキュラム作成】 合同会議：情報共有・作成

- 保幼小連携・接続の意義や目的について共通理解を図る。
- 各施設の情報共有を行い、「②校区のめざす子ども像」を設定する。
- 年間計画や教科書等を活用し、「⑤交流」の計画を立てる。

4
月

ステップ① 【連携】 電話・対面で施設と連携

- 校区一覧で校区内の就学前施設を確認する。
- 小学校長が各施設に連絡を取る。(年度当初)
- 連携担当者が連絡を取り合う。

人のつながりの「連携」から、教育課程のつながりの「接続」へと取組を充実させましょう。

架け橋期コーディネーターが支援を行います。



参考
資料1 北九州市版架け橋期のカリキュラム
資料2 作成のポイント
資料3 作成動画